

## ＜第9回 竜神地域会議 会議録＞

日時 令和6年1月23日(火) 19:00～20:30  
場所 竜神交流館 多目的ホール  
出席者 委員 18名  
市役所 太田市長、辻部長、中川室長、野依課長、花田課長  
事務局 成瀬支所長、吉澤副支所長、天野担当長、山本主査、  
山口書記  
オブザーバー 岩田館長

---

### 1 会長あいさつ〈省略〉

### 2 市長あいさつ〈省略〉

### 3 答申(第9次豊田市総合計画)

- ・答申書受渡し
- ・意見交換

#### 委員より意見

総合計画の中の「あるものを生かす」という表現はとても良いと思う。ただ、カタカナ言葉が多いのはわかりづらいので改善した方が良い。

別件だが、「豊田の交通事故」を見ると、市内の事故で多いのは自動車に続いて自転車である。自分も実際に何度か自転車の危険運転を目撃している。学校で自転車の交通ルールの説明等、自転車に関する啓発活動をしっかりとってほしい。

#### 委員より意見

企業と防災に関する協定を結んでいると聞いたが、どういう協定があるか市民が知ることにはできるのか。また、やはり災害を他人ごととして捉えている人が多いので、その意識をどう変えていったらよいと思うか。

#### 市長より回答

企業との協定に関しては、その都度報道発表をしている。

豊田市は内陸部なので沿岸部の都市より被害は少ないと思うが、南海トラフに備え、自分で3日分以上の備蓄をすることは重要である。

6月の豪雨の際に避難指示を出したが、実際に避難した人はかなり少なかった。豊田市は震度5強以上で非常配備態勢3となり、すべての職員が自動参集して被害状況把握、初動を発動することになっている。最近の天災は忘れぬうちにやってくるので、常に備えることが大切。コロナで自治区行事が減り、地域のつながりが薄れている今、南海トラフが起きるとどうなるのかを懸念している。

#### 委員より意見

自分は民生委員をやっているが、地域のつながりが薄れている今、一人暮らし高齢者の情報把握が難しいと実感している。特に災害時に、どのように情報把握をしたら良いと思うか。

#### 市長より回答

個人情報の開示を嫌がる人もいるし、自治区に入るのが嫌だという人もいる。実際の災

害時にそれによって対応が異なることはないが、自治区に入ったらメリットがあるという工夫も必要なのではないか。それによって地域のつながりを保持することにつながることもできるのではないか。

**市長より意見**

先程の自転車の交通ルールの話だが、危ない運転をしている高校生等の学生に関しては、区長会から学校に申し入れる等の方法もあるのではないか。

**委員より回答**

学校に申し入れはしているし、学校もある程度の把握はしている。どちらかというところ警察に取り締まってもらった方が良いのではと思っている。ただ、警察も現行犯でないと取り締まれないという話を聞いている。

**市長より意見**

諮問の際に意見があがった竹村駅の件だが、名鉄に申し入れはしている。名鉄側の状況もあるので、駅舎が変わるか等は何とも言えない。ただ、竹村駅東口の状況はなんとかする必要があると思うので、時間はかかるが取り組んでいく。

#### **4 報告事項**

- ・第8回竜神地域会議 会議録について